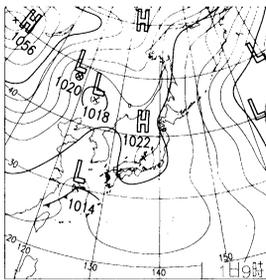


# 日々の天気図

— No. 25

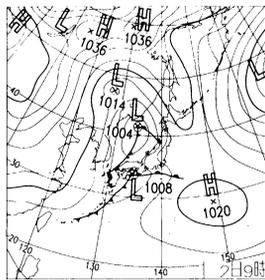
## 2004年2月

- ・ 8日 北陸で大雪、高山の降雪量52 cm/24 h.
- ・ 15~16日 北日本や北陸で暴風雪・高波、秋田の最大瞬間風速32.4 m/s.
- ・ 22~23日 低気圧が北海道で発達、道東地方で40 cm/24 hを超える降雪、網走で観測史上最深積雪143 cm.
- ・ 29日九州で30 mm/h超の激しい雨、佐世保市の24時間雨量124 mm. (気象庁予報部予報課)



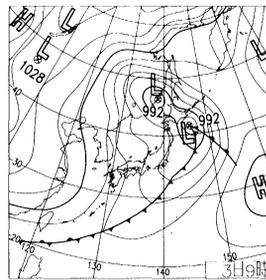
### 1日(日)福江で「うぐいす初鳴き」

高気圧が本州を足早に通過、九州や四国は曇り、その他の地方は概ね晴れる。日本海と東シナ海に低気圧が進み、夕方には全国的に曇り、九州・沖縄で夕天雨。



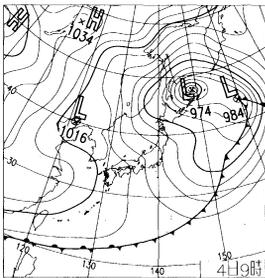
### 2日(月)関東久しぶりの雨

前線を伴った低気圧が本州南岸と日本海にあってそれぞれ北東に進み、日本付近は気圧の谷に入り、全国的に雨や雪。低気圧が暖かい空気を運び西日本中心に平年より気温高い。



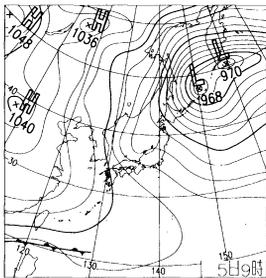
### 3日(火)冬型次第に強まる

本州南岸を通過した低気圧が三陸沖で発達、北日本や日本海側で雪や雨、道東地方の網走市や帯広市では降雪量15~20 cm。太平洋側は前線がゆっくり南下し、始めのうち曇り。



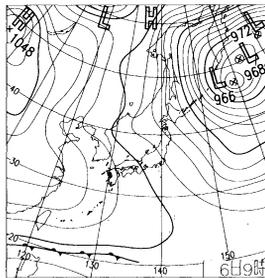
### 4日(水)奈良で「ひばり初鳴き」

冬型の気圧配置が強まり、日本海側は雪、太平洋側は晴れ。奈良で昨年より3日早い「ひばり初鳴き」。岩手県沖で地震、岩手県盛岡市等で震度4。



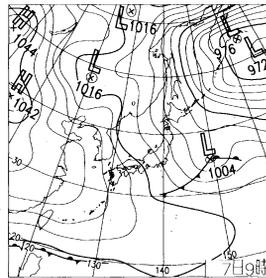
### 5日(木)札幌で雪祭り始まる

冬型の気圧配置が続く、輪島の上空約5500 mに-38.7°Cの強い寒気が入り、九州・四国も雪。札幌では夕方から強い雪が降り、21時の積雪は89 cm。



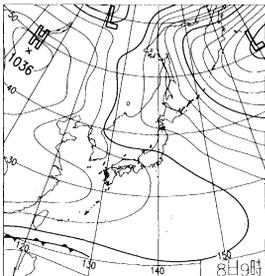
### 6日(金)北陸で大雪

北日本の上空に寒気が残り、日本海側は雪や雨が続く。北陸や長野・岐阜の山を中心に40 cm/24 hを超える大雪。太平洋側は晴れ。九州・沖縄の最高気温は、平年より3~6°C低い。



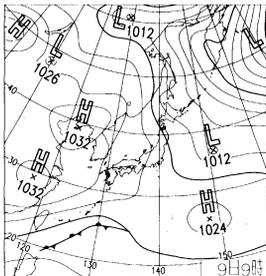
### 7日(土)流水ウォーキング

冬型の気圧配置が続く。最高気温は全国的に低く、西日本・南西諸島では平年より4~8°C低い。ニュージーニアでM7.1の地震。知床半島で流水ウォーキングが始まる。



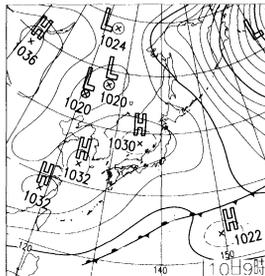
### 8日(日)北陸以北で雪

北海道上空に-42°C以下の新たな寒気が入り、冬型の気圧配置が続く。富山市では午前9時までの24時間に52 cmの降雪。太平洋側や南西諸島では平年より2~4°C低く寒い朝。



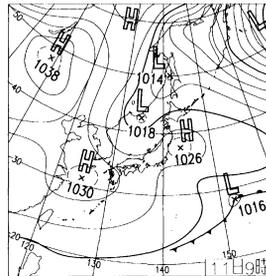
### 9日(月)青森県・深浦沖で竜巻

北日本・東日本は冬型の気圧配置、西日本では高気圧が北に偏り、曇りの所が多い。南西諸島は前線の影響で雨。青森県深浦沖で17時頃竜巻を観測。



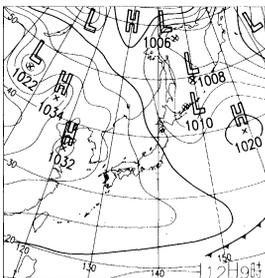
### 10日(火)全国的に穏やかな晴れ

日本付近は日本海を進む移動性高気圧に覆われる。全国的に風は弱く、北日本の一部で雪の他は晴れ。那覇で平年より3日遅くヒカンザクラ満開。



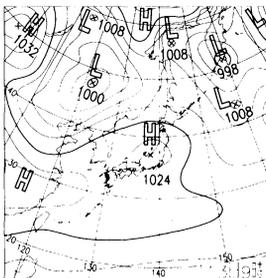
### 11日(水)キャンプ日和

高気圧に覆われ、午前中は全国的に晴れ。気圧の谷が日本海に進み、日本海側は午後には雪や雨。プロ野球のキャンプ地の高知・宮崎・沖縄では気温は平年より高く、終日晴れ。



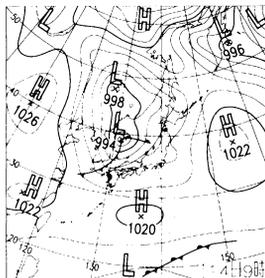
### 12日(木)北海道暖かい朝

東シナ海の移動性高気圧が西日本に張り出し、北日本の日本海側で雪の他は概ね晴れ。北海道の朝の最低気温は平年より4~11°C高く、旭川では平年より10.9°Cも高い。



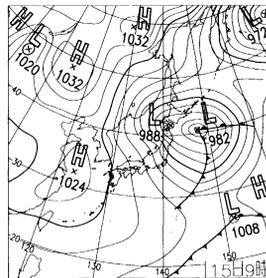
### 13日(金)銚子では「真冬並み」

移動性高気圧に覆われて全国的に穏やかな天気。最高気温は全国的に3月上旬・中旬並だが、関東南部では北東風の影響で気温が上らず、銚子は9°Cで「真冬並み」。



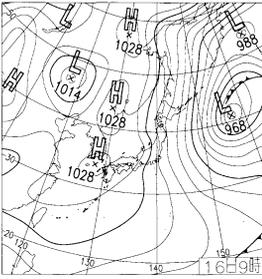
### 14日(土)各地で春一番

低気圧が日本海で急発達、全国的に南よりの強い風が吹き込み、気温は平年より5~9°C高い3月下旬~4月上旬並に上昇。午後には寒冷前線が通過し、気温も下がる。



### 15日(日)北日本大荒れの天気

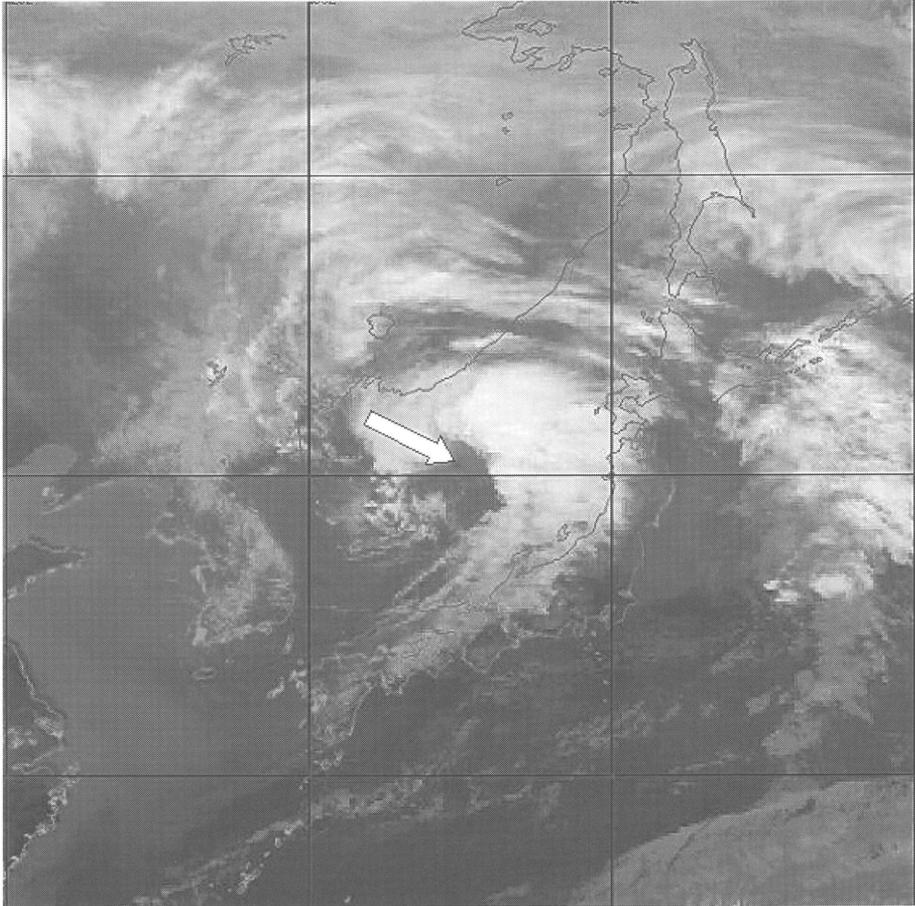
発達した低気圧が津軽海峡付近を通過、北日本・北陸を中心に大雪や暴風。最大瞬間風速は秋田市32.4 m/s、白河市31.4 m/s。東日本の太平洋側や西日本・南西諸島は晴れ。





## 今月の気象衛星画像—2004年2月

### 春一番



2004年2月14日15時の赤外画像

春一番とは、立春から春分の間において、日本海で低気圧が発達した場合に、南よりの強風が吹いて昇温した最初の日をいう。

写真は、2月14日15時の赤外画像である。日本海中部にコマ型の雲が見られ、矢印付近に低気圧の中心がある。また、そのコマ型の雲の西日本に延びる尾の部分には、寒冷前線に対応している。この寒冷前線の南側では、南よりの暖かい風が低気圧中心に向かって吹くため、気温が上昇しやすい。

この日、東京では、最高気温 $16.0^{\circ}\text{C}$ で平年値を大きく上回ったほか、15時50分に南西の風 $11.6\text{ m/s}$ の最大風速を観測した。南西風は21時頃まで続いたが、22時には北北西の風になり、気温は前1時間に比べ $4.3^{\circ}\text{C}$ も下がり寒冷前線が通過したことが分かる。

春一番は春の陽気をイメージさせるが、海上では強風による高波や積雪の多い所では昇温によるなだれが起きやすくなるなど防災上の注意が必要である。

(気象衛星センター)